

学校通信

発行：令和2年1月15日
発行所：呉市立和庄小学校
〒737-0044 呉市八幡町10番7号
TEL 0823-23-6688 FAX 0823-26-6063
文責：芳川 真理

<学校教育目標> 夢を持ち自ら学ぶ～前進そして感謝～

新年明けましておめでとうございます！

令和2年のスタートは、とても穏やかな天気でした。今年こそは、大きな災害がないことを願ってやみません。

さて、「レジリエンス」と言う言葉を知っていますか？最近よく使われる言葉なので聞かれたことがあるかもしれません。わたしは、現代の子供達(大人にとって)にとって、最も重要になる力・概念だと思っています。

レジリエンスが高い人は、次の3つが備わっていると言われています。

【回復力】 困難に直面しても、すぐに元の状態に戻ることができる、心のしなやかさ

【弾力性】 予想外のショックやストレスなどがあっても耐えることができる、人から批判され嫌なことを言われても、心の傷とならずに自分を守ることができる精神

【適応力】 予期せぬ変化に抵抗するのではなくそれを受け入れて合理的に対応することができる思考

ではどうしたらレジリエンスを高めることができるのでしょうか？

1 大人がポジティブな関わりをする

子どもが逆境に立たされたときに、「大丈夫、なんとかなる」「この程度で済んでよかった」のように、「長引かせない+広げない」の発想で捉え、それを言葉として発していきます。そして、「もうダメだ」「最低最悪」のような悲観視する言葉を慎むこと。「〇〇すると怖いよ」「〇〇したら大変なことが起こるよ」と脅さないこともポイントです。

2 先回り行動をやめる

大事なことは、子供がつまずきそうなデコボコ道を先回りして平らにしてあげることではなく、それにつまずかないような力を身につけさせたり、つまずいてしまったときにどう対処したらいいかを教えてあげたりすることです。怖いのは、失敗することではなく、その後の解決法を知らぬまま育ってしまうことです。

3 自分力を促す

子供の行動を管理しすぎてしまうと、その子の自分力はなかなか育ちません。子どもの頃、自分で決断をする機会が多い子は、将来、大成する傾向が高いということも分かっていますので、親がリードしつつも、子供にできる判断や決断は、できる限り委ねていきましょう。自己管理が上手になると、レジリエンスがアップするだけでなく、スランプやストレスを未然に回避する力にもつながっていきます。まずは、何で遊ぶか、何を着るか、何を持っていくかなど、自分の身の周りの簡単なところから、決める習慣を促していきましょう

公認心理師 佐藤めぐみ「子育てのコト」より

ともにレジリエンスを高めていきましょう。



図工 ポスター作り



3学期始動!

音楽 鍵盤ハーモニカ



体育 持久走



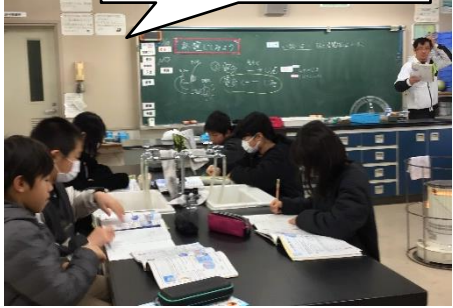
NRT算数テスト
問題用紙が配られる
前の緊張感!



外国語活動
寺田先生のテンポある問いに反応し、
レベルの高い授業になってます。



理科
課題解決に向けしっかり
考えています。



丁寧な掃除をしています。



スキルタイム
掃除後の10分間を
集中して行っています。
算数の計算に課題
があることを受け、既
習済みの計算ドリルの
問題を解いています。



校長室に来て音読、
暗唱、九九、鍵盤ハー
モニカなど、校長に聞
いてもらいに来る子供
達が沢山います。合格
シールが励みになって
います。

教職員に聞きました! 『今年の目標、モットーは何ですか?』

- ・ 呉チャレンジマップで全種目10位以内にしたい。 ・ 笑顔で過す。
- ・ 料理のうでをあげる。 ・ 自分のやりたいことができるように時間を有効に使う。
- ・ 子供達一人一人と、しっかり思い出を作りたい。 ・ 今日一日をちゃんと過す。
- ・ 当たり前のことに感謝する。 ・ 体力温存 ・ 健康一番 ・ 一意専心 ・ 平常心で過す。
- ・ 失敗をおそれず、チャレンジする。